

令和3年8月26日

保護者 様

荒川区立第三中学校長
小 柴 憲 一

緊急事態宣言延長に伴う2学期以降の教育活動について

このことにつきまして、令和3年8月26日付で荒川区教育委員会より通知がありましたので、以下のとおりお伝えいたします。

1 移動教室について

(1)1年生清里移動教室(9月14日～15日)と三組の特別支援学級合同移動教室(10月4日～5日)は中止となりましたが、「代替行事を実施すること」という但し書きがありましたので、日程的に可能か、保護者の費用負担をどれだけ抑えられるかなども含めて、今後、区教委と協議してまいります。

(2)2年生下田移動教室(9月9日～10日)は緊急事態宣言解除後に延期して実施となりましたが、緊急事態宣言の再延長の可能性があることと、延期となったすべての小・中学校が、宿舎利用が可能かなどの解決すべき課題があり、今後の状況により再びご連絡することとなります。

2 荒川区連合体育大会について

9月22日に江戸川区陸上競技場で開催予定でしたが、今年度は中止となりました。

3 部活動について

校内活動のみとするため、他校との練習試合等は引き続き自粛します。ただし、合同チームの練習につきましては保護者の方の同意の上、大会参加につきましては保護者の方の同意とともに2週間の健康観察をすることをもって可能です。

「活動内容・時間を縮小して実施すること」につきましては、区内の校長会で協議し、東京都教育委員会が都立学校あてに通知している基準「活動日は1週間(7日間)で4日以内に短縮し、平日は2時間程度、休日は3時間程度とする。ただし、各種大会やコンクール等に出場する場合、その当日は活動日数に含めない。」を10校で申し合わせることにしました。

移動教室につきましては、1学期より実行委員を選出し、実行委員会の中でスローガンを決定し、学年によってはクラスに日程を説明したり、しおりの作成に取り掛かったりしていました。

連合体育大会につきましては、1学期に種目ごとに出場希望を募ったり、保健体育科の教員から参加を促したりして、8月24日(火)からすでに練習を開始していました。

企画を立て中心となって活動していた子ども、参加することを楽しみにしていた子ども、自分の力を試してみたいと挑戦する熱意の強かった子どもなどにとっては、大変残念なことだと思います。しかし、新型コロナウイルス感染拡大やそれに伴う医療体制の状況、そして命を尊重しなければならない観点から考えると、やむを得ないことかと考えております。

さらに、延期措置・代替措置となっても「いつになるのか」「本当に実施できるのか」などの不安もあり、気持ちの整理をすることも困難な子どももいるかと思えます。

悔しい思いや不安な気持ちは十分に理解できますが、「今、置かれた状況で何ができるか」という昨年度から続いている、三中生のたくましさをもって、「今、やるべきこと」を一つ一つ着実にこなしていってほしいと思っています。

まもなく2学期が始まります。

本校では、「登校してきている子どもは体調が万全の子どもである」という前提に立ちながらも、さらに、万が一のために頻繁な手洗い、手指消毒、換気を行うとともに、密を避けるための生徒会本部主催の昼休みの校庭開放も行っております。

お子様を登校させるにあたりましては、保護者の方の責任において適切な判断をこれからもよろしく願いいたします。

また、ワクチン接種につきましては、7月19日の「三中だより」でも書きました通り、あくまでも任意の接種であることと、接種したくてもできない体質の方がいることなどから「接種したかどうか・・・」などの会話をすることに関して、私は否定的です。しかし、本校の保護者の方の安心にかかわる情報なので具体的な数字は控えたうえでお知らせいたしますが、本校の教職員は、この夏に、居住する自治体・荒川区の集団接種・東京都教育委員会の集団接種などにより、ほぼ全員が2回目を終えていることをご報告いたします。

【担当】荒川区立第三中学校 副校長 中島 茂男

TEL:03(3801)5808